

## 大和投資信託「UCDAアワード」初の投信部門最優秀に

# 「見やすさ、わかりやすさ、伝わりやすさ」にこだわる姿勢貫く

## 常務執行役員マーケティング副本部長 谷川原 勝浩氏に聞く

一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会(UCDA)は、産業・学術・生活者の知見により開発した尺度で、帳票やパンフレット、ウェブページなどをデザインの視点で評価する「UCDAアワード」を実施している。3回目となる2012年は「生活者を守るデザイン」がテーマ。評価対象として11年までの生命保険と損害保険に、新たに投資信託とOTC医薬品が加わった。また、今回から新たに「アナザーボイス」として生活者の視点をくみ上げる仕組みを導入した。投資信託については、投資信託の運用成績を評価するアワードは既に数社が行っているが、販売用資料を、情報のわかりやすさという視点から評価するものは、今回が初めてだ。評価対象物は外国債券投資信託 販売用資料。その投資信託部門で第1回目の最優秀にあたるアワードに輝いたのは大和証券投資信託委託。今回受賞の対象となったのは「ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)」の販売用資料。そこで、同社常務執行役員マーケティング副本部長の谷川原(やがわら)勝浩氏に同販売用資料の何が優れていたのか、その評価点や、同社の取り組み、今後の展開などについて聞いた。

——「ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)」の販売用資料の評価点は。

総合評価は、「情報のわかりやすさ・充実度ともにバランスがとれている」と高く評価された。ユニバーサルコミュニケーションデザインに配慮しており、必要な情報が破たんなく高次元に整理されている。問題点・欠点が極めて少ないということだった。

評価ポイントは、①表紙に「ご注意」を記載し、為替リスクや、元本が保証されていないことを赤字で強調している。②お申し込みメモが表形式でわかりやすい③グラフ化されたデータ類は視認性に優れ、リターンについて理解しやすい。リスク紹介ページの文字サイズも大きく、高

齢者にも優しいデザイン。

評価ポイントの補足として、①購入検討者に対して売りにくくなる可能性のあるリスク情報を表紙に記載し、赤字で強調している点が誠実である。②一見飾り気がなく何気ないように見えるが、ユニバーサルデザイン的に破たんがない。グラフィックや色彩設計は、色弱者にも見やすい適正な配色や強調がなされている。フォントも読みやすく、文字のジャンプ率(タイトルと本文など文字サイズのメリハリ)も適正に設定されている。③表紙や本文で使用している写真などが、それぞれ伝えたい内容にマッチしたものでイメージしやすい。写真の種類も多く、作り込んでいる。④各ページタイトルも写真と一体化したデザインでありな

が読みやすい、グラフも見やすい——との評価をいただいた。

今回受賞の対象となった「ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)」の販売用資料は、以前からユニバーサルデザインに関心があった、当社の若手スタッフが印刷会社と相談させていただいて作成したものだ。ユニバーサルデザインに基づいたカラーやコンテンツをベースに資料作りに取り組んだ結果、今回のUCDAの評価基準と一致、高い評価をいただいた。カラーやフォントも今回のアワードのキーワードになっていたことを再認識させていただいた。

——「UCDAアワード」を通じて得たものは。

従来、当社が続けてきた良い資料



谷川原 勝浩氏

作りは、商品性をアピールし、運用方針、リスク説明などどれだけきちんと盛り込むかに重点を置いてやってきており、情報を充実させることを尺度として考えてきた。しかし、今回、できるだけ多くの情報を詰め込むことではなく、盛り込みたい情報も優先度をつけることで減らして、投資家が「わかりやすい」ということを尺度にして資料作りを進めた。これが一番大きな評点となった。わかりやすさをより強調したこと

が、今回のアワードの受賞につながったと受け止めている。投資信託の世界でこのところ金融リテラシーが重要になっているが、受け手の理解力に立った尺度でわかりやすさを出す必要がある。

——アワードで特に印象に残ったことは。

今回のアワードの評価のうち、「情報のわかりやすさ評価」で評価基準が加点方式ではなく、減点方式だったことが新鮮だった。「DC9ヒューリスティック評価法」(注:「わかりやすさの9原則」を根拠として問題点を発見する分析的手法)による4段階の減点方式で行われる。加点方式は、良い部分を評価していく方式で、当社はこれまでパンフレット作りでも情報を付加して充実度を高めており、この点は他社に負けない自信があった。しかし、「情報のわかりやすさ評価」では、エンドユーザーに分かりやすく伝わるか——その効率性が前面に出される。伝達効率を妨げる要因をいかに少なくするかが課題だ。エンドユーザーに伝えるに当たっての非効率性は極力排除しなくてはならない。何か問題はないか、これを減点方式で評価して

いく。

——今後の取り組みについて。

当社は投資信託を説明するための販売用資料だけでなく、販売会社やホームページなどを通じ、目論見書・運用報告書・ファンドレポート・投資環境資料などを「見やすく、わかりやすく、伝わりやすく」にこだわり、お客さまに提供できるように取り組んできた。今回の受賞は、公平な第三者機関の専門家の評価をいただくことができ、大変うれしく思っている。第三者機関の評価がないと、お客さまに本当に伝わっているのか、なかなか自分では判定できない面がある。具体的な評価基準があることは大変助かる。ほかの資料も見直すなど、戦略的に組み入れていきたい。今後とも「見やすさ、わかりやすさ、伝わりやすさ」にこだわった資料の作成に、全社を挙げて取り組んでいきたいと考えている。

——アワードへの今後の参加については。

投資信託部門における第1回のアワードの受賞は大変光栄に思っている。今回の評価基準を参考に、さらに改善を重ねることで、次回も参加したい。(T)

販売用資料 ※お申込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

### ブラジル・ボンド・オープン

#### 目次

ブラジルの概要	1	【ご参考】着実に成長するブラジルの経済	11
目次	3	【ご参考】個人消費の拡大が期待できるブラジル	12
ブラジル・レアル建債券3つの魅力	4	【ご参考】豊富な資源	13
①魅力的な金利水準	5	【ご参考】バランスの取れたブラジルの産業構造	14
②高まる信用力	7	【ご参考】ブラジル・レアル建債券について	15
③通貨価値の上昇期待	9	【ご参考】ブラジル国債指数のパフォーマンス分析	16
当資料の目的・特色	17	ファンドの目的・特色	17
分配金について/イタウ・アセットマネジメントについて	18	分配金について/イタウ・アセットマネジメントについて	18
収益分配金に関する留意事項	19	収益分配金に関する留意事項	19
「ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)」の運用状況①	20	「ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)」の運用状況①	20
「ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)」の運用状況②	21	「ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)」の運用状況②	21
【ご参考】「ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)」の分配金の概況	22	【ご参考】「ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)」の分配金の概況	22
「ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)」の主要な資産の状況	23	「ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)」の主要な資産の状況	23
投資リスク	24	投資リスク	24
ファンドの費用	25	ファンドの費用	25
お申し込みメモ	26	お申し込みメモ	26

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は大和証券投資信託委託株式会社が作成した販売用資料です。お申込みにあらかじめ必ずご確認ください。
- 投資信託は価値のある有価証券等(外資建債券には為替リスクもあります)に投資するものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性・将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しており記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。
- 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分

受賞の対象となった「ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)」の販売用資料。うち、表紙と目次

当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆・保証するものではありません。

表紙の当資料のお取扱いにおけるご注意をご覧ください。